

2022 年 9 月 22 日

## ほしぞらサロン 2022 年 8 月議事録

文責：阪本 麻裕

日 時： 2022 年 8 月 27 日(土) 18:00～22:00

場 所： プラネタリウム事務所

参加者： 篠原\*, 高木, 濱島, 町田\*, 宮田

(50 音順、敬称略)

職 員： 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 10 名

\* リモート(Microsoft Teams, Zoom)参加者

Zoom の場合、音声聞き取りにくいとの意見があったため、今回は Zoom の他に、Microsoft Teams でも接続を試みた。

19 時 30 分から 21 時ごろまで、ユリックスで開催されたイベントに付随して、観望会を実施した。

### 1. 9 月 10 日(土)のほしぞらウォッチング「中秋の名月」について

===== 予定 =====

20:00～21:00 月[月齢 14.1]の観望(風の丘)

※ 雨天時は、20 時よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

高木： 19 時ごろに満月になる。

小野田： 今回は、中秋の名月が満月であるため、非常に珍しい。

角田： 月が昇ってきたばかりであるため、天頂プリズムを使用しなくても良いかもしれない。月を観望するのであれば、望遠鏡よりも対空双眼鏡の方が好ましい。

高木： 対空双眼鏡の接眼レンズは上の方にあるため、子どもが覗くのは難しいのではないかな。

宮田： 望遠鏡を出す場合、ビクセンまたはタカハシのどちらを出すのか。

角田： 赤道儀の安定性として、タカハシの方が良い。ビクセンの赤道儀はしばらく使用していないため、メンテナンスが必要かもしれない。

篠原： ビクセンでも良いが、月以外の天体を見ることになった場合も考慮すると、タカハシの方が良いと思う。

宮田： 20 時で、月の高度は 15 度ほど、土星の高度は 30 度ほどである。

角田： 例年より 1 ヶ月ほど、お月見の日が早いため、風の丘から見たときの月の出の位置は見当がつかない。

宮田： 感染症対策のため、ブルーシートは出していなかったが、今年はどうするのか。

小野田： ブルーシートを出すと、お客さんが必然的に集まり、密になる。マスクを着用し、会話を

しなければ良いかもしれないが。

角田：ビデオカメラで月を拡大した様子を、プロジェクターを通してスクリーンに映す予定である。無線で操作できるように備品を購入したため、機材等の接続は容易だと思う。

小野田：スクリーンを出すと、望遠鏡で月を見られない人も見るができる。

宮田：スクリーンに映し出された月と一緒に記念撮影できるため、良いと思う。

コロナ禍になってから、目からの感染対策で紙コップを使用していた。目からの感染よりも飛沫の方が感染するリスクは高いように思う。

角田：手指消毒液は置いておくべきだと思う。

平野：スタンプコーナーのところに消毒液を設置してはどうか。

宮田：消毒液を準備しておく、気になる人は消毒すると思う。

→スタッフの人員が多い場合、タカハシ屈折望遠鏡・ビクセン屈折望遠鏡・対空双眼鏡を2台ずつ出す予定である。手指消毒液を設置することやブルーシートは密にならないよう出さないことといった、感染防止対策を施す。また、月をスクリーンに映し出し、お客さんに見てもらう。今回は紙コップを使用せずに、アイピースを覗いてもらう予定である。

## ● 今後のほしぞらウォッチングの予定

- ・10月15日(土)「木星・土星」 19:30～20:00 プラネタリウムでの解説(プラネタリウム)  
20:00～21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

## 2. クリスマス番組について

これまでの話し合いで、ほしぞらスタッフの方々が主体となって制作していた「クリスマスのおくりもの」のシリーズの2作目「プロキオンぼうやとまほうつかい」のリバイバル版の上映や工作教室の開催等といった案が出ていた。先月のサロンでの話し合いでは、いっかくじゅう座にクリスマスツリーの形をした星団があるため、クリスマスツリー星団と関連したショートストーリーはどうかという意見があった。スタッフの意見を参考にし、職員が考案してみた。(ほしぞら★>資料室>ほしぞらサロン>クリスマス番組案2022)

### ①「冬の天の川を見てみよう」(登場人物：サンタ、女の子、オリオン座、みずがめ座)

- ・星が好きな女の子がクリスマスを前に夢を見る。
- ・仲良しだと思っていた星座たちがケンカをしてしまう。
- ・女の子は悲しい気持ちになってしまい、天の川は水浸し。
- ・女の子の気持ちを知って、星座たちは反省し、どうにかして元通りになる。
- ・女の子は目が覚める。夜空を見上げて思いを馳せる。

### ②「冬の夜空で宝探し！」

(登場人物：サンタ、トナカイ、おおいぬ座、こいぬ座、オリオン座、ふたご座、ぎょしゃ座、おうし座)

- ・サンタとトナカイの元に、冬の夜空に隠されている宝を見つけよという挑戦状が届く。
- ・ヒントを元に、冬のダイヤモンドの6つの星を辿る。
- ・6つの星を見つけると何かが光る。そこにはクリスマスツリー星団があった。
- ・夜空にクリスマスツリーの形をしたものがある。

①「冬の天の川を見てみよう」について

角田： オリオン座とみずがめ座の 2 つの星座に関連する話がないため、難しいのではないかな。  
例えば、オリオン座とさそり座であれば良いが。

②「冬の夜空で宝探し！」について

宮田： ウォッチングでは見ることができない星雲や星団を見てみようというのはどうか。冬の夜空にはどのような星雲や星団があるのか。

以下、調べて出てきた星雲や星団である。

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| ・ばら星雲、クリスマスツリー星団(いっかくじゅう座) | ・かに星雲(おうし座)      |
| ・かもめ星雲(おおいて座)              | ・馬頭星雲(オリオン座)     |
| ・クラゲ星雲(ふたご座)               | ・魔女の横顔星雲(エリダヌス座) |

宮田： 夜空にあるクリスマスツリーを見に行くように、サンタさんはトナカイに案内してもらおう。行く途中に、いろんな星雲や星団があり、ようやくクリスマスツリー星団にたどり着くという物語はどうか。

角田： 目的が弱いと思う。

町田： 体調不良のサンタさんを助けるのが目的というのはどうか。他の星座たちがクリスマスツリー星団を見つけてくるといった物語である。

宮田： クリスマスツリーがほしい子どものために夜空にあるクリスマスツリーを探しに行く。

平野： 皆と違うクリスマスツリーがほしいというのはどうか。

角田： 遠くにいる友達と一緒に見上げるクリスマスツリーがほしいということであれば、コロナ禍の今の状況に合うように思う。

→職員やスタッフの意見を参考にし、再度考慮に入れる予定。

3. 9月以降の活動について

★ 9月10日(土) ほしぞら友の会(9:30～10:45 太陽系と宇宙の広がり)※土曜授業と重なるため17日も実施  
ほしぞらウォッチング「中秋の名月」(20:00～21:00)

★ 9月17日(土) ほしぞら友の会 補講日(9:30～10:45 太陽系と宇宙の広がり)  
~~出張観望会@直方市立下境小学校(18:00～21:00)~~ 中止 (9月16日追加)

★ 9月24日(土) ほしぞらサロン(18:00～22:00)

☆ 10月1日(土) 出張観望会@直方市立下境小学校 予備日(18:00～21:00)  
→別日を検討 (9月16日追加)

★10月 8日(土) ほしぞら友の会(13:30～16:00 火薬ロケット工作)

★10月15日(土) ほしぞらウォッチング「木星・土星」(19:30～21:00)

★10月29日(土) ほしぞらサロン(18:00～22:00)

- ★10月30日(日) 出張観望会@旧若宮西小学校(18:30～20:00)
- ★11月12日(土) ほしぞら友の会(9:30～10:45 火薬ロケット打ち上げ)
- ★11月26日(土) ほしぞらサロン(18:00～22:00)
- ★12月 3日(土) 出張観望会@日の里西小学校(18:30～20:00)
- ★12月10日(土) ほしぞら友の会(9:30～10:45 流星について)
- ★12月24日(土) ほしぞらサロン(18:00～22:00)

次回のほしぞらサロンは、2022年9月24日(土)です。